地域ブロック 北海道

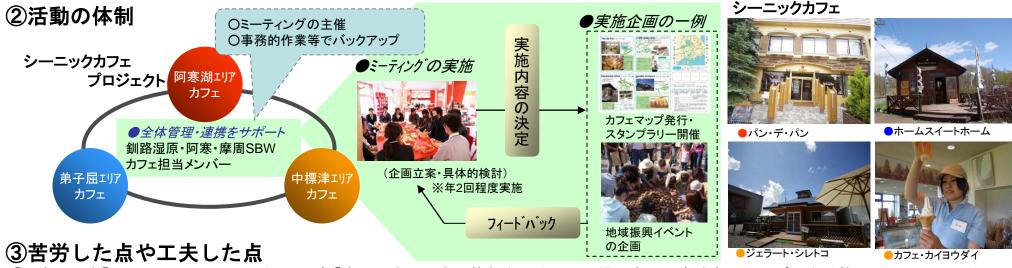
ルート名称

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

①活動概要

カテゴリー

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ シーニックカフェプロジェクトでは、既存店舗を活用し、連携した地域情報拠点づくりを行っている。現在、参加カフェは4つであり、定期的にカフェスタッフミーティングを開催し、ドライブが楽しくなる様な企画検討・実施を行っている。今年度は、「Clear Stream Map(手づくりマップ)の作成配布」「オリジナルグッズ"あなたの想いと繋がるエコバッグ"」の販売試行、地域振興イベント「オータムフェスタ2009」の企画、夜間店舗の利活用として「シーニックナイトカフェの営業」等を実施した。



【工夫した点】シーニックカフェスタッフが「自ら発案」できる体制をつくり、現場の意見(来訪者のニーズ)を柔軟に受け止めている。 【苦労した点】活動費を最小限に抑えた活動を実施しているが、資金捻出に苦労している。

④活動の効果

ルート内4つのカフェが地域情報拠点として、情報提供や広報PRを連携実施し、周遊観光の促進に繋がっている。ミーティング等の実施により、カフェスタッフのおもてなしに対する意識が向上し、きめ細かい対応に繋がっている。また、今年は地域振興イベント「オータムフェスタ2009」を企画(実施主体はルート運営委員会)するなど、ルート活動の中枢を担う存在になりつつある。

⑤今後の活動

ルートの地域情報拠点として情報提供の充実を図ると同時に、「地域振興の拠点」を目指したい。地域振興に繋がる企画立案・実施やオリジ ナルグッズ(食品なども含)の検討及びルートの環境保全に繋がる活動等を実施し、地域ブランドを形成したい。

様式2(★指定ルート)

ベストシーニックバイウェイズ・プロジェクト2009

ルート名	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
活動の名称	民間情報拠点"シーニックカフェ"の連携した取り組み
活動期間	平成 19 年度~現在(3 年目)
	①活動の持続性、②活動の地域への浸透・波及、
	③ルート運営の基盤強化、④ブランド形成・活用、⑤人材育成の充実、
	⑥その他シーニックバイウェイ北海道の推進への寄与

1. アピールポイント

●シーニックカフェとは?

釧路ルートにおける、民間情報拠点連携による「シーニックカフェプロジェクト」の取り組みは、平成 19 年より開始され、今年で 3 年目を迎える。20 代のカフェスタッフが中心となり、年 2 回程度のカフェスタッフミーティングを開催しながら、ドライブが楽しくなる様な企画検討・実施を行っている。

●これまでの取組み









カフェスタッフミーティングの開 カフェスタンプラリーによるル 共通ラックでのルート内観光情 「おもてなしブック」による観光 催 (H19~) マト内回遊促進 (H19~) 報発信 (H19~) 案内のレベルアップ (H20~)

●平成 21 年度にスタートした取組み

①Clear Stream MAP (手づくりマップ) の作成配布

来訪者のニーズや地域特性を活かした、オリジナルフリーマップの作成をスタートした。マップは word で作成し、来訪者のニーズに応じて、柔軟にブラッシュアップが出来る仕組みとしている。現時点では、「移動ルート&距離早見マップ」「ビギナーズドライブマップ」をカフェに設置し、ビューポイント等への誘導を図っている。



移動ルート&距離早見マップ

②オリジナルグッズ"あなたの想いと繋がるエコバッグ"の企画販売

シーニックカフェを「地域の想いを伝える場にしたい」という意向から、ルート内の CO2 削減を目的とし、苗木一本分の寄付代金込みのエコバッグを企画し、カフェ毎のカラーとロゴのデザインで販売している。受け取った寄与は、来春以降の「ルート内植樹祭」で使用する予定である。なお、バッグには寄与証明書を添付し、購入者のうち、希望者は植樹祭に参加していただける仕組みとなっている。



販売の様子(cafee kaiyodai)